



2025 年 11 月 21 日

各 位

会 社 名 ASAHI EITO ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 星 野 和 也  
グループ CEO  
(コード 5 3 4 1 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 管理本部 経営管理部長 三 宅 久 史  
T E L (06) 7 7 7 7 - 2 0 6 7

## 新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社グループの財務基盤の強化及び資産運用の多様化を目的として、新たな事業であるトレジャリー事業（暗号資産流動性提供事業を中核とする）を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業参入の背景

当社グループは、過去数期にわたり営業損失を計上しており、製造事業単体では十分な収益性を確保することが難しい状況にあります。

財務基盤の脆弱化や資本効率（ROE・ROA）の低下が課題となる中、手元資金の安定確保と収益源の多様化を図るため、安定的な財務収益を生む新たな運用モデルとしてトレジャリー事業を開始することといたしました。

世界的にインフレ進行・金利変動・円安傾向が続く中で、現預金や円建資産のみを保有することは資産価値毀損リスクを伴います。

こうした環境下、欧米の上場企業では、企業が保有資産の一部を暗号資産等で分散運用する「トレジャリー運用」が広がっており、ステーキング報酬や流動性提供による手数料収入などを通じて資本効率を高めています。

当社もこの潮流を踏まえ、暗号資産の流動性提供（Liquidity Providing：LP）事業を中核とした新たなトレジャリーモデルを構築し、財務基盤の強化および安定収益の確保を目指します。トレジャリー事業への参入にあたり、当社は、金融庁登録の暗号資産交換業者を始めとする暗号資産関連事業を行う企業との業務提携を行うことを想定しております。

#### 2. 新たな事業の概要

## （１）事業内容

当社は、2025 年 11 月 21 日付開示資料「第三者割当による新株式、第 12 回新株予約権（行使価額修正条項付）、第 13 回新株予約権及び第 1 回無担保普通社債（少人数私募）の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」にてお知らせしている第三者割当による第 12 回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第 13 回新株予約権（以下、「本新株予約権」という。）の発行により調達する資金（最大で約 ~~2739~~ 億円規模）を活用し、以下の暗号資産を取得・運用いたします。

イーサリアム（ETH）：約 50%（ステーキング・Uniswap 等での流動性提供）

ソラナ（SOL）：約 50%（うち一部をスマートポケット（SP）に転換、Jupiter（ソラナ（SOL）

ブロックチェーン上で主要な分散型取引所（DEX）を横断して価格や流動性を比較し、最適な条件で暗号資産の交換（スワップ）ができるようにする「アグリゲーター」機能を備えた取引基盤）等での流動性提供）

### イーサリアム（ETH）を選定した理由

イーサリアムは、世界的に最も広く利用されているスマートコントラクト基盤であり、分散型金融（DeFi）、NFT、ゲーム等の多様なアプリケーションの土台となっており、ステーキングによる安定的な報酬獲得が可能な点が特徴です。

加えて、世界的な時価総額及び流動性が高く、企業がバランスシート上で保有する財務資産として実務上の信頼性・透明性が高いことから、当社の財務運用ポートフォリオにおける「基軸資産」として適していると判断いたしました。

### ソラナ（SOL）を選定した理由

ソラナ（SOL）は、世界で最も高速かつ低コストなブロックチェーンの一つとして、分散型金融（DeFi）、NFT、ゲーム等の多様な分野で急成長を遂げており、圧倒的なトランザクション性能と拡張性を有しています。

その高い処理能力とエコシステムの拡大スピードは他の主要チェーンを凌駕しており、将来的な実需と価値向上の両面で極めて有望な資産であり、戦略的投資に適していると判断しました。

### スマートポケット（SP）を選定した理由

スマートポケット（SP）は、ソラナ基盤上で展開される新興トークンであり、「トークン経済×IP コンテンツ×ユーザー報酬」を融合した次世代型エコシステムの構築を目指しており、当社は、ソラナ（SOL）への分散投資の一部として、スマートポケット（SP）に戦略的に投資いたします。

本トークンは、単なる投資対象ではなく、実際のユーザー参加や IP 拡張に連動して価値が形成される「実需型トークン」である点に特徴があり、当社が掲げる「製造×デジタル×

コンテンツ」戦略との親和性が高いと考えております。

さらに、当社はスマートポケット（SP）エコシステム内で成長する多様な IP の発展に参画することで、将来的にそれらの IP を活用した新たな事業展開（コンテンツ制作、マーチャンダイズ事業、デジタルグッズ販売等）を視野に入れることが可能となります。

当社は、初期段階からこのエコシステムの成長に参画することで、中長期的なリターン及び戦略的優位性の獲得を目指します。

なお、SP は ETH や SOL に比べ市場規模が小さいため、当社ではあくまで戦略的投資枠の一部として限定的に保有し、リスク管理の下で運用する方針です。

取得した暗号資産は、金融庁登録の暗号資産交換業者または信頼性の高いカストディ業者を通じて安全に保管し、中長期保有型の安定運用を基本方針とします。さらに、イーサリアム（ETH）及びソラナ（SOL）を分散型取引所（DEX）上の流動性プールに預け入れ、取引の流動性を提供する代わりに、ユーザー間取引（スワップ）から発生する手数料やインセンティブ報酬を収益化する「LP 事業」を展開します。

本事業は、2025 年 12 月より順次開始する予定です。主な業務内容としては、①暗号資産の取得・保有・ステーキング運用及び流動性提供運用の実施、②資産の評価・モニタリング及びリスク管理、③関連法令・会計基準に基づく内部統制及び開示体制の整備を予定しております。

当社は、今後の事業拡大フェーズに応じて、外部専門家の招聘や人員の増強を適宜検討し、ガバナンス・リスク管理・コンプライアンスを徹底した運営体制を構築してまいります。

初期段階では運用体制・会計処理・監査体制の検証を行いながら段階的に投資規模を拡大します。

## （２）運用規模および妥当性

暗号資産の運用は、取得・保管・ステーキング・LP 提供・関連費用等を含め、約 ~~2730~~ 億円規模の範囲で段階的に実施します。一定以上の投資規模がなければ価格変動の影響が大きく、分散・平準化効果が発揮されにくいいため、本規模は中長期的なリターン確保とリスク耐性の両立を目的とした合理的かつ妥当な水準と判断しています。

## （３）担当部門

本事業は、代表取締役直轄のもとに 2025 年 11 月中に新設する予定の「トレジャリー事業部（仮称）」が統括します。現時点では、具体的な人員構成や配置については検討中ですが、事業開始時には、財務・経理・内部統制に精通した既存管理部門の人材を中心に数名規模で編成し、外部アドバイザーの助言を受けながら運営いたします。事業の進展に応じて、専門人材の追加採用や体制拡充を行い、内部統制・リスク管理・法令遵守体制を徹底します。

### 3. 事業目的及び期待効果

#### (1) インフレ・為替変動への対応

円建資産に偏ることなく、暗号資産を長期保有することで購買力の維持と資本価値の安定を図ります。円建て資産の購買力低下に備え、暗号資産の長期保有により資本価値の維持を図ります。

#### (2) ステーキング及び流動性提供報酬による収益の確保

ステーキングや DEX での流動性提供 (LP) を通じて、安定的な財務収益を創出します。

#### (3) 資本効率および財務健全性の向上

分散運用による収益源の多様化により、ROE・ROA 等の改善を目指します。

#### (4) 将来的な事業展開の可能性

将来的な応用可能性については現時点で具体的な計画はありませんが、関連技術の動向を注視しながら、当社グループの事業多角化の一環として検討してまいります。

### 4. 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

本新株予約権の発行及び行使による調達資金のうち 2,682~~[3,050]~~ 百万円を、2025 年 12 月から 2031 年 12 月にかけて、トレジャリー事業の推進に関連して必要となる、ソラナ (SOL)、イーサリアム (ETH) 及びスマートポケット (SP) 等の購入費用、新規事業としてのトレジャリー事業の立ち上げにあたり要する運用費用及び戦略的投資費用に充当する予定です。

### 5. 日程

- (1) 取締役会決議日 2025 年 11 月 21 日
- (2) 事業開始期日 2025 年 12 月 (予定)

### 6. 今後の見通し

本件による当期業績への影響は軽微ですが、中長期的には運用収益や資産価値上昇を通じて、当社グループ全体の企業価値向上に寄与する見込みです。

今後、業績に重要な影響を及ぼす事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上